

# 美篤保育園からこんにちは

回覧

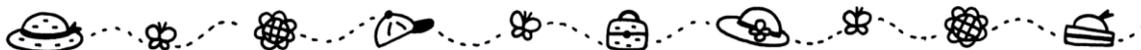
平成27年7月



皆様こんにちは、美篤保育園です。熱中症のニュースが多い時期ですが、いかがお過ごしでしょうか。

現在保育園には、142名の園児が元気に通っています。4月当初は、年少組や未満児組から泣き声が聞こえていましたが、園庭に出て遊んだりおいしい給食を食べたりするうちに、段々と保育園に慣れてきました。

最近の園児の活動の中心は、何と言ってもプール遊びです。皆、歓声を上げてプール遊びを楽しんでいます。



## <美篤保育園保育目標>

- 健康で意欲的に遊べる子ども
- 思いやりの気持ちが持てる子ども
- 自己表現をし、人の話を聞ける子ども

保育園では「生きる力のある子ども」を育むために、遊び、異年齢交流、地域や小中学校との交流、食育、読み聞かせ、体づくりなど様々な活動をしています。



年長さんが年少さんの発育測定をお手伝い



「畑の先生」向山さんに指導を受けながらじゃがいも植え



サツマイモの苗を買ってきて植えました。



地域運営委員さんと、草もち作り



流し素麺ごっこ



東部中学生さんとの交流



## <美篤保育園地域運営委員会について>

市内全保育園に「地域運営委員会」が組織されています。会の名称やメンバー、人数は様々ですが、「子どもたちの健やかな育ちのために、家庭や保育園だけでなく地域の皆様の知恵や力をお借りして、子育てを地域全体で支えていく」ことを目的としています。そして、委員会で地域交流について検討したり保育活動をサポートしたりしていただいています。

美篤保育園の場合は、美篤小学校長さん、美篤公民館長さん、駐在所長さん、区長さん、民生児童委員さん、主任児童委員さん、保護者会長さんの皆さんに委員になっていただいています。



## 「野菜の会」さんとの地産地消交流

地域の方が作った、地元の野菜を口にできることは幸せなことです。保育園では地元の「野菜の会」さんから旬の野菜を届けていただいています。作っている方の顔がわかり、自分たちの身近な場所でできる野菜が給食に入ると“おいしさ”に“人の温かさ”も加わるように感じます。いつもありがとうございます。



## 「がるがるっこ」を育む



「がるがるっこ」とは、「おもしろがる」「ふしぎがる」「やってみたがる」「ききたがる」「ためしてみたがる」など、いろいろ「～がる」子どものことです。この「～がる」行動で、子どもたちに工夫する力や人と関わる力、物事を見通す力などが育っていきます。これらの力は、学校での学習や社会生活を送るうえで必要な「生きる力」に繋がっています。

…と、少し難しい文章になってしまいましたが、子どもたちは毎日“～がって”います。泥んこ遊びから石鹸を削って水に混ぜて泡遊びになった時、石鹸を削りたがったり、どのくらい石鹸をませたらいいか何回も試してみたがったりと、楽しく遊びながら「がるがるっこ」になっています。成功したら、その方法を友だちに「おしえたがる」子どももいます。夢中になって遊んでいる姿は、微笑ましかったり発想に驚かされたり頼もしかったりします。

これからも、もっともっと「～がる」体験ができるようにしていきます。



お兄さんたちの真似をして、登るぞ!!



これ、うまくいくかなあ。